

第2回 藤塚地区かわまちづくり協議会

目次

(1) 今年度の活動報告	1
(2) ワーキンググループでの意見	2
(3) ワーキンググループでの意見をふまえた整備内容（案）	5
(4) かわまちづくりの事業展開に向けた整理	9
(5) 今後の活動予定	11

令和7年2月6日

(1) R6年度の活動報告

R6年度の検討項目

検討項目		進捗目安
①【ハード面】 使い勝手の良い施設の仕様	・ 舟運、水上アクティビティ、自然観察に適した施設の仕様	・ 側帯、東谷地部分の施設の仕様を決定
②【ソフト面】 地域全体のコンセプト 施設の運営方法	・ 周辺事業者との連携 ・ 舟運、自然観察の規模や頻度	・ 周辺事業者との連携を検討 ・ 拠点施設の運営方法の方向性を決定

R6.7.24 (水)

第1回かわまちづくり協議会

- ・ 協議会の検討事項
- ・ 藤塚地区かわまちづくり
- ・ 今後の活動予定

R6.9.12 (木)

第1回ワーキンググループ

- ・ 親水護岸等の仕様
- ・ 公園との連続性
- ・ 舟運、自然観察の規模や頻度

R6.10.17 (木)

現地確認

- ・ 海岸公園～船着き場エリア
- ・ 東谷地エリア

R6.11.28 (木)

第2回ワーキンググループ

- ・ 周辺事業者との連携
- ・ 拠点施設の機能分担

R7.2.6 (木)

第2回かわまちづくり協議会

- ・ ワーキンググループでの検討結果報告
- ・ 試行イベントの予定(舟運、自然学習、キッチンカー等)
- ・ R7年度の目標

(2) ワーキンググループでの意見（広域エリア）



(2) ワーキンググループでの意見（海岸公園～船着き場エリア）

凡 例
青記載：整備内容
赤記載：利用方法

③親水護岸（船着場）

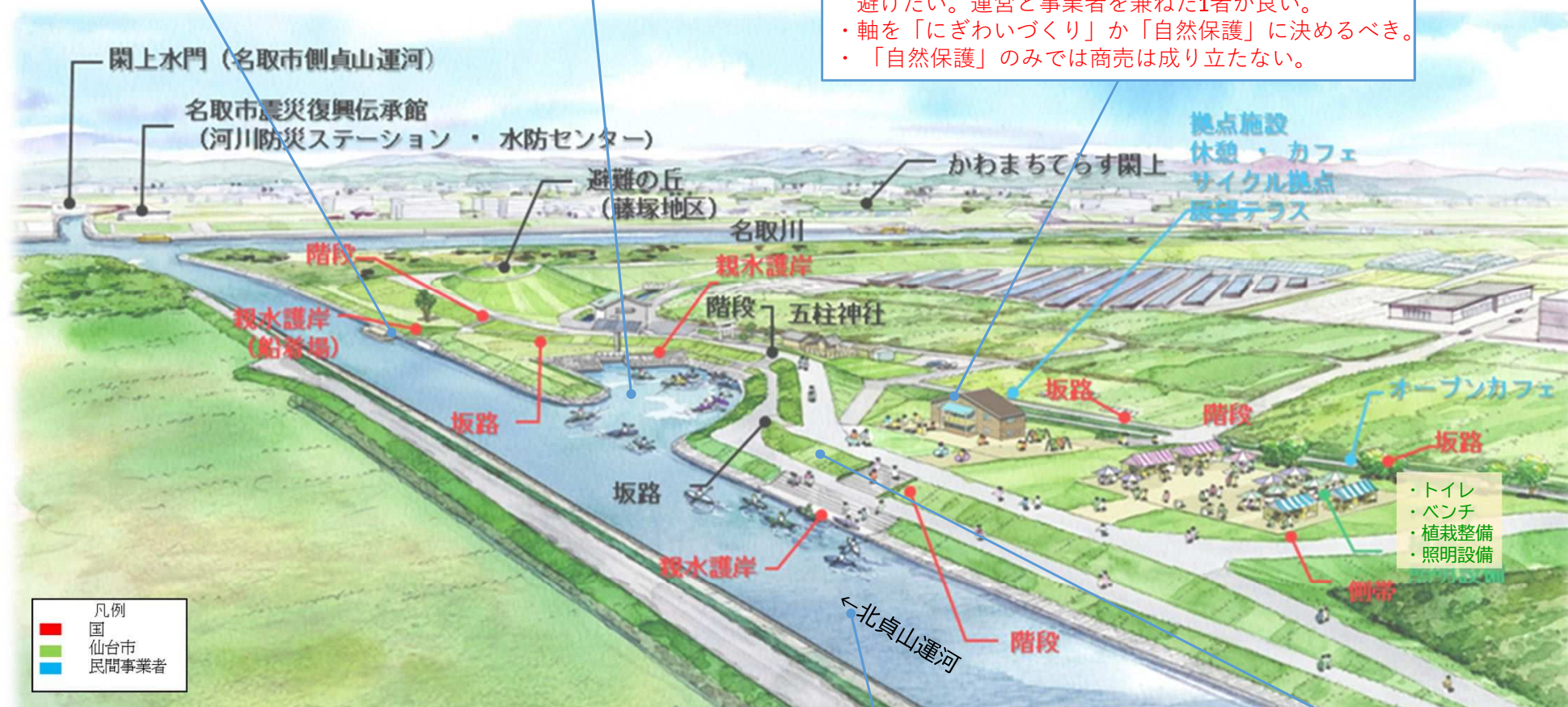
- ・船着場は栈橋形式が良い。
- ・船は仙台市で購入すべき。
- ・季節ごとの見どころが必要。
- ・平船の底に鉄板を貼った動力船が良い。

④漁港

- ・干潮時にはカニの観察ができる。
- ・泥の部分は手を付けず残してほしい。
- ・カヤックやボートを置けるとよい。
- ・生物観察の場とサップや船の乗船場は分けるべき。

⑤拠点施設

- ・建物整備は補助金がないと厳しい。
- ・水道設備の整備は市で行ってほしい。
- ・駐車場が小さすぎるのでは。大型4台の計画では不足。
- ・団体、個人、ペットと一緒にのサップ利用が考えられる。
- ・周辺事業者がいるので、飲食系の事業者を入れるのは避けたい。運営と事業者を兼ねた1者が良い。
- ・軸を「にぎわいづくり」か「自然保護」に決めるべき。
- ・「自然保護」のみでは商売は成り立たない。



⑥吊り橋

- ・貞山運河に吊り橋を設置してほしい。井土浦を背景とした映えスポットになる。
- ・遠足などで井土浦に渡り、豊かな自然環境を勉強してほしい。そのために吊り橋が必要。
- ・人のみが渡れるつり橋がよい。井土浦での調査も容易になる。

⑦ジップライン

- ・ジップラインの人気の高いので本地区にも設置してほしい。

⑧貞山運河

- ・干潮でもサップ利用が可能なのは幅5m程度。浚渫が必要。
- ・干潮時は船は運行できない。
- ・干満差が1m程あるため、満潮時にサップ、干潮時に自然観察等のルールづくりが必要。

⑨親水護岸

- ・階段の踏面は寝そべられるくらい幅広に。
- ・延長100mのデッキにしてほしい。
- ・すべりにくい構造にする等、安全面の配慮が必要。
- ・一般の方でも水に親しめる施設が必要。（緑化フェアのせせらぎ水路等）

(2) ワーキンググループでの意見（東谷地エリア）

凡 例
青記載：整備内容
赤記載：利用方法

⑩管理用通路

- ・干潟の水面と連続する形状とし、所々にヨシ原の前に出られるように。
- ・東谷地に降りられる親水施設があるとよい。
- ・エコトーン（異なる環境のつながり）を大事にした整備が必要。緩やかな傾斜の整備にする等。

⑪見学用の干潟

- ・拠点施設に隣接して干潟を設ける。
- ・生物紹介の看板設置。
- ・干潮時、満潮時ではどのような体験ができるのか、という情報整理、提供が必要。

⑫見どころ（冒険広場含め）

- ・春は田んぼ、夏は虫、秋はきのこ、冬は鳥がメイン。
- ・竹竿を使った釣りを貞山運河で実施。

⑬井土浦

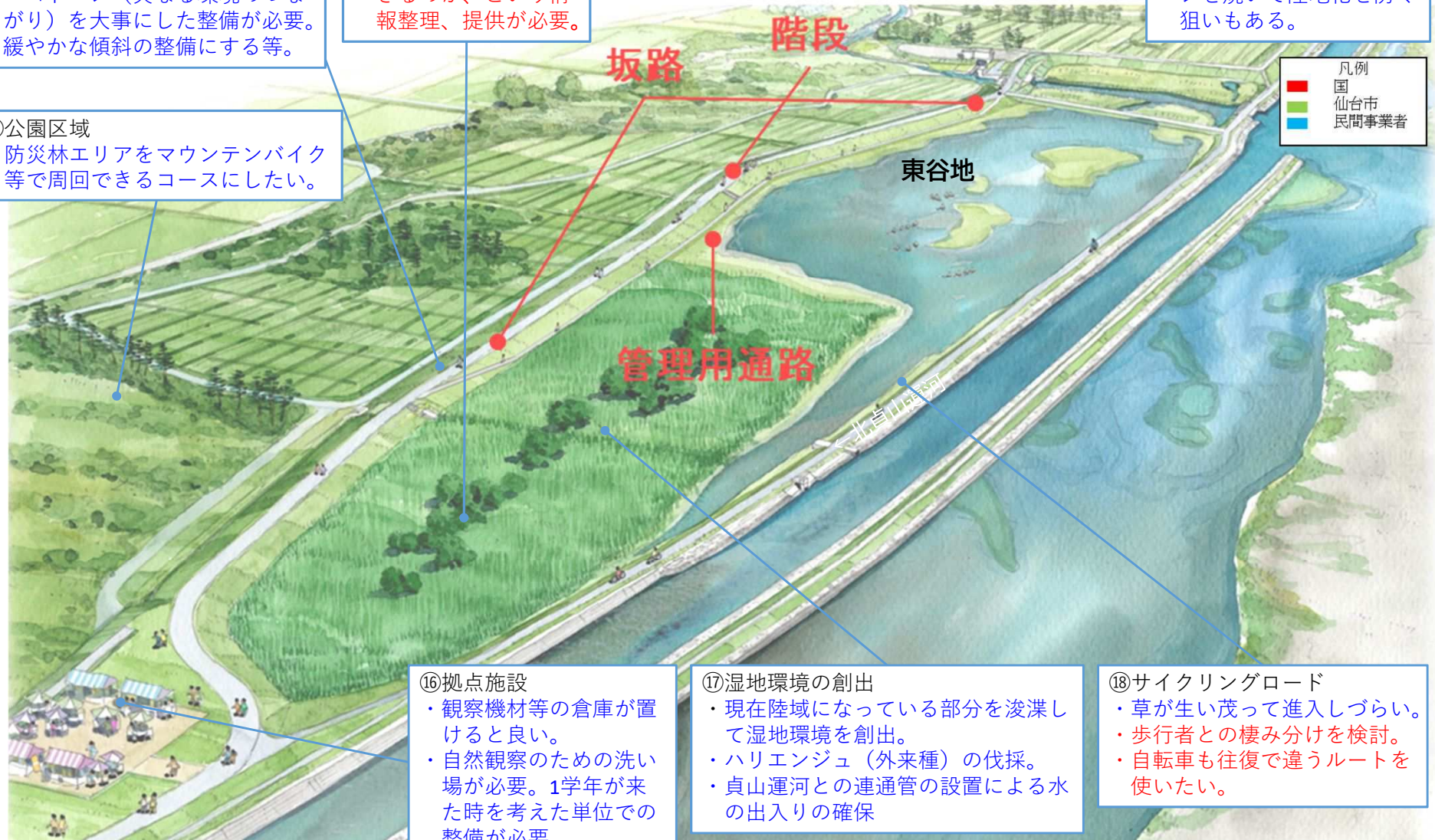
- ・自然特別保護区のため、中に立ち入らず観察すること。

⑭ヨシ焼き

- ・東谷地には、水中だけでなく陸地の生物もいる。ヨシ原の生物にも配慮するべき。
- ・ヨシ焼きには、枯れたヨシを焼いて陸地化を防ぐ狙いもある。

⑮公園区域

- ・防災林エリアをマウンテンバイク等で周回できるコースにしたい。



⑯拠点施設

- ・観察機材等の倉庫が置けると良い。
- ・自然観察のための洗い場が必要。1学年が来た時を考えた単位での整備が必要。

⑰湿地環境の創出

- ・現在陸域になっている部分を浚渫して湿地環境を創出。
- ・ハリエンジュ（外来種）の伐採。
- ・貞山運河との連通管の設置による水の出入りの確保

⑱サイクリングロード

- ・草が生い茂って進入しづらい。
- ・歩行者との棲み分けを検討。
- ・自転車も往復で違うルートを使いたい。